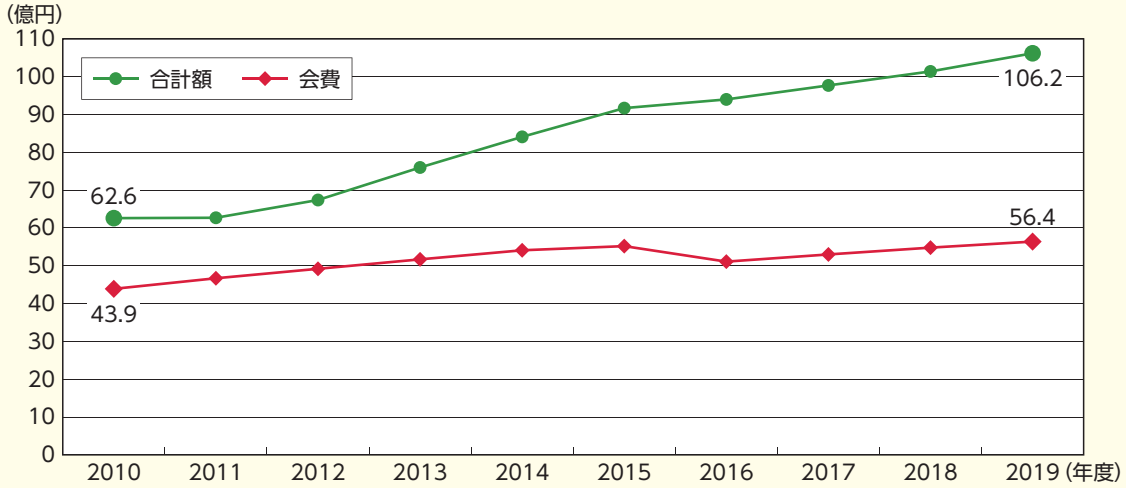
第２節　日弁連・弁護士会の財政状況

弁護士自治を確立するためには、日弁連及び弁護士会の運営が財政的にも独立していることが不可欠であるから、運営経費は会費、登録料、寄附その他の収入をもって支弁することとなっており（日弁連会則第 91 条参照）、収入全体（前年度繰越金を除く）のうち会費収入（2016 年４月１日から月額 12,400 円）が約９割を占める。その使途について外部から何らの制約を受けることはない。

1　日弁連における財務関係

2010 年度から 2019 年度までの日弁連における収入の推移をまとめたものである。

資料3-1-2-1　日弁連（収入の部）一般会計（過去 10 年間の動き）



資料3-1-2-2　日弁連（収入の部）一般会計の内訳

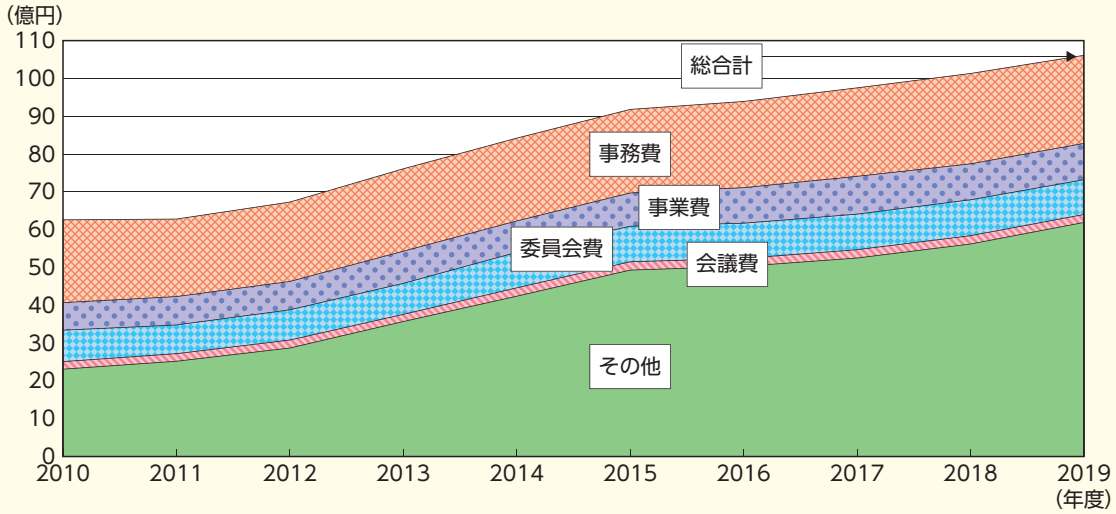
(単位：千円)

内訳＼年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
会費	4,392,225	4,669,892	4,915,240	5,170,815	5,406,361	5,522,328	5,114,363	5,297,986	5,481,303	5,637,977
登録料	108,960	111,015	113,710	115,025	52,540	46,235	47,622	43,350	46,992	45,111
事業収入	121,757	102,149	98,180	92,093	85,419	82,995	63,288	61,495	51,244	51,806
諸受入金	145,855	136,717	129,561	120,059	100,866	93,763	88,125	100,918	121,398	113,142
預金利息	2,344	1,258	844	1,085	1,297	1,410	88	89	91	53
雑収入	35,298	68,403	52,986	50,549	46,831	49,257	26,925	41,596	35,053	52,392
他会計から繰入	※147,626	—	—	—	—	—	※12,000	※12,000	※3,500	※3,500
前年度繰越	1,305,386	1,178,760	1,427,924	2,053,877	2,720,980	3,372,474	4,042,957	4,208,887	4,404,251	4,711,832
総合計	6,259,451	6,268,195	6,738,445	7,603,503	8,414,296	9,168,462	9,395,368	9,766,321	10,143,833	10,615,814

【注】１．「他会計から繰入」の※については、以下のとおり。
2010 年度：2011 年３月 31 日をもって廃止となった「弁護士補償Ｂ制度会計」の資産を一般会計に繰入。
2016 年度～2019 年度：保険事務特別会計から繰入。
２．内訳の各費目については千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合がある。

2010 年度から 2019 年度までの日弁連における支出の推移をまとめたものである。

資料3-1-2-3 日弁連（支出の部）一般会計（過去 10 年間の動き）



資料3-1-2-4 日弁連（支出の部）一般会計の内訳

(単位：千円)

内訳＼年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
会議費	204,414	195,815	211,458	192,028	216,317	216,453	210,275	221,007	228,138	210,069
委員会費	825,649	756,547	801,821	823,557	936,029	935,771	930,089	946,879	953,728	927,189
事業費	728,030	746,419	752,015	845,938	832,632	883,226	943,638	1,005,949	953,273	962,259
事務費	2,186,226	2,053,844	2,105,866	2,176,487	2,185,396	2,206,021	2,283,293	2,342,085	2,390,287	2,325,645
退職手当積立金特別会計繰入	—	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	200,000	200,000
会館特別会計繰入	504,183	531,765	555,716	581,943	606,099	615,948	341,136	353,060	362,729	372,252
災害復興支援基金特別会計繰入	—	300,000	—	—	—	—	—	—	—	—
法律援助基金会計繰入	230,000	100,000	100,000	100,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	100,000
日弁連重要課題特別会計繰入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,000,000
偏在解消事業特別会計繰入	50,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
少年・刑事財政基金会計繰入	350,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事務職員能力認定試験・研修事業特別会計繰入	—	—	—	—	—	2,500	1,700	1,800	5,100	5,100
日弁連ひまわり基金会計繰入	—	—	—	—	—	—	209,540	220,400	223,000	200,000
財政基盤強化積立金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
什器備品・固定資産関連	2,189	5,882	7,692	12,570	5,350	5,588	6,811	10,889	5,745	10,191
次年度繰越	1,178,760	1,427,924	2,053,877	2,720,980	3,372,474	4,042,957	4,208,887	4,404,251	4,711,832	3,303,109
総合計	6,259,451	6,268,195	6,738,445	7,603,503	8,414,296	9,168,462	9,395,368	9,766,321	10,143,833	10,615,814

【注】1．少年・刑事財政基金会計は、2009 年 6 月 1 日に当番弁護士等緊急財政基金会計の廃止に伴い発足した。
2．内訳の各費目については千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合がある。